

俯くマグワートを見て「お孫さんの件、何と云うていいか…マジヨリアルも目を伏せて神妙な顔になってしまった。そこでウイザットはその場の雰囲気を変えるべく、「ところで、魔女ジニマリーナに会う為にはガジマルの樹の精霊にお願いするんだよね、爺さん」と話をジニマリーナに戻した。「ああ、そうじゃ。キジムナーという精霊じゃ」マグワートが顔を上げて答えた。「お嬢さんはジニマリーナに会って、どうするんだい？自分がどこの誰かを聞くのかい？」ウイザットの質問に、「聞いたら判るかしら」マジヨリアルが顔をぱつと明るくした。

「そうじゃな。それは良い案じゃ。だが、ガジマルの樹までは少し距離があるでな。お嬢さんは足を怪我しておるから、そのまま行くことは今は難しいのう」腕を組みながらマグワートが言うと、「なら僕の馬に乗せて連れて行ってあげよう」立てた親指で表を指し示す仕草をしながらウイザットが言った。

「おう、その手があったか」マグワートは組んだ腕を解き、左の掌に右手の握り拳を打ち付け、ボンと音をさせながら言った。

そして立ち上がったキャビネットのほうに行き、「だったら、その服よりもこの服に着替えたほうが馬に乗り易いのではないかな」と言いながら、キヨロットを出してきた。

「あれ？何で爺さん女性用のキヨロットなんて持っているんだい？」訊ねるウイザット。「死ん

だ娘の服じゃよ」とまたもやマグワートの表情が曇つたのを見て、「え？娘さんも亡くなったのかい？そ、それは…更なる悪いことを聞いてしまったね」と慌てるウイザットに「いや、いいんじやよ向こうの世界でまた会うことが出来る。魂は永遠じゃからのう」とマグワートは微笑んで見せた。



「でも、形見のお品をお借り出来ないわ」マジヨリアルが言うのと、「いや、ずっと仕舞っておくよりも、こつやつとお嬢さんのお役に立てれば、娘も嬉しいじゃろう。ちょうどサイズも同じくらいじゃないかな」マグワートは更に微笑んだ。

「そつだよ、お嬢さん、遠慮なく借りたらいさ」ウイザットが言うと、「じゃあ、お言葉に甘えてそつさせていただくわ」とマジヨリアルはニコリした。

マジヨリアルが着替えるの為に隣

の部屋に消え暫くすると、ウイザットが再び口を開いた。「爺さんは娘さんもお孫さんも早くに亡くしてしまつたんだね」

「嗚呼。娘は出産直後に亡くなつたんじや。ワシらは事情があつて、町の医者には行けなかつた。その命と引き換えに産んだ孫もワシの不注目で失つた…目を瞬かせて答えるマグワートに「娘

さんの…そのう…旦那さんは？」ウイザットは遠慮勝ちに小さな声で尋ねた。「うん…色々事情があつてな…」マグワートが言葉を濁しているところに、「本当にサイズ、ピッタリだわ」着替え終わったマジヨリアルが戻ってきた。「おお、本当じゃ。なんかこうして見るとお嬢さんはワシの娘に似ておるのう」マグワートは目を細めてマジヨリアルを見た。

キラキラと揺らめく木漏れ日、仄（ほの）かに香る土の匂い、小鳥の囀り。2人を乗せ、常歩で進んでゆく白馬。木々の葉を揺らしたそよ風が、銀色の鬘を靡かせ、ピンク色に染まるマジヨリアル頬を撫で、更に腰まで伸びる栗色の髪を捲き上げ、そして彼女を後ろからホルドしているウイザットの太く逞しい腕を擦り抜けていく。

降り注ぐフイトンチッドを全身に浴びて、2人の脳波はすつかりQ波状態となり、流れゆく瞬間の狭間の時空に迷い込んでしまつたかのような錯覚にふと囚われ始めていた。 つづく。

フイトンチッド・樹木から放出される揮発性の物質。芳香・殺菌性があり、森林浴効果のある成分としても知られる。

## チャネリング相談

**Q** 私の上司である現地責任者 A は、会社の経費を長年に渡り私用に使っている疑いがあります。日本に居る社長は、真面目に見える彼を信頼し切っているのですが、もしも私がそのことを社長に言っても、今の段階では証拠はないので信じないと思いますし、最近私と A さんは仕事上で拗れているので、誰が社長に告げ口したかすぐに判ってしまい、下手したら A さんによって首にされ兼ねません。私はどうしたら良いでしょうか。  
(Torrance 在住 F さん)

**A** あなたの言うように本当に A さんが会社のお金を私用に使っているとすれば、会社のお金はただのQでも私用で使うことは犯罪ですので、首になる覚悟で不正を暴き、逆に A さんが会社を追われる、という展開に持つていくことも正義と言えるかも知れません。

但し、A さんにお子さんが居たとして、今 A さんが会社を首になることの影響がそのお子さんの人生を狂わすとすると、宇宙はお子さんをまず守る為に、暫くはバレない状態を静観するかもしれません。それは正義というものとは違う次元です。

私は決して犯罪行為を擁護する意味で言っているのではなく、宇宙の計画は時に人智を超えているものなので、今だけのこと、その人だけのことを見ての采配を宇宙はしないという意味で申し上げております。

ですが、例え今はバレなくても、A さんがツケを払う時は必ず来ます。バレなければ、誰も見ていなければ、と思つての言動であっても、宇宙は全てを見ています。闇の言動はその人の魂の成長を悉（ことごと）く引き下げるものであり、そのツケはいずれ必ずその人に学びとして戻ります。

その采配は宇宙にお任せして、あなたは光からハグしなくて生きていく。それが今の時点であなたに出来ることです。あなたのことも宇宙は見てくれていますから。